

様式6
：「学校」部門

河川基金助成事業

「えだっこ川環境応援隊」 報告書

助成番号：2024-7211-018

高知県いの町立枝川小学校

校長 氏名 池本 浩子

2024 年度

助成番号	助成事業名		学校名			
2024-7211-018	えだっこ川環境応援隊		いの町立枝川小学校			
所在地	吾川郡いの町枝川 2964-1		対象河川名			
対象学年	4学年 (54人)		主たる教科	総合的な学習の時間		
河川教育の目標	<p>【知・理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水害の歴史や治水施設の役割を知る。 ・ハザードマップの見方が分かる。 <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・枝川地区の土地の特徴や水害について調べたり、考えたりしたことをまとめ、発表できる。 ・治水施設の役割やいの町の対策についてまとめることができる。 <p>【人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの安全のために、自分にできることを考え、実践しようとしている。 ・マイ・タイムライン作りを通して、避難準備に必要な事柄について考えている。 					
育成したい資質・能力	自然災害の危険性、安全で安心な社会づくりの意義を理解し、安全な生活を実現するために必要な知識や技能を身に付けること					
学習活動の内容と成果						
<p>【学習活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いの町を流れる河川や枝川の水害の歴史について知る。 ・水害や河川について疑問や不思議を出し合う。 ・出し合った疑問や不思議を調べ、ロイロノートにまとめる。 ・枝川の水害被害といの町の水害対策を知る。 ・治水施設の役割を知る。 ・治水施設（宇治川排水機場と新日下川放水路）の見学をする。 ・いの町役場の方とマイ・タイムラインを作成する。 ・自主防災組織の方から避難の仕方を学ぶ。 ・いの町役場の方と3Dハザードマップから、自分の家の浸水状況を確認する。 ・1年間の学習のまとめを3年生に発表する。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水害を経験していない児童が、枝川地区の過去の水害の写真や被害概要を知ることによって、自分事として学習に積極的に取り組む様子が見られた。 ・12月末に行ったマイ・タイムライン作りを通して、避難準備に必要な事柄を知り、防災意識が高まった。 						
学びの創意工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・治水施設の見学 ・関係機関との連携 ・自主防災組織など地域を巻き込んだ学習の展開 					
河川教育を通じて見られた子どもの変容	<ul style="list-style-type: none"> ・いの町を流れる仁淀川や宇治川への理解が深まった。 ・枝川地区の宇治川氾濫による水害の歴史や治水対策を知り、地域の避難所を調べたり災害への備えを考えたりするなど、防災意識の高まりが感じられた。 					
支援者等（複数記入可）						
保護者	外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	専門家等
河川管理者	行政機関、博物館、資料館等		関係団体（漁協、農協）等		企業	その他
支援の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・出前授業にて枝川地区の水害の歴史や治水対策の概要の説明 ・治水施設の見学案内 					
成果発表	成果作品			発表方法		
	ロイロノート					
今後の課題・展開						

【課題】

- ・ 3D ハザードマップから、自分の家を見つけられなかった児童が複数名いたため、全員が浸水状況を確認されたわけではなかった。
- ・ マイ・タイムライン作成において、様式が大人向けであったため記入内容が難しかった。そのため、様式を小学生向けにするなど、工夫が必要であった。

【展開】

- ・ 河川に関連して水害を主に扱った。今後は防災だけでなく、河川の水質調査やごみ拾いなどができたらよいと感じている。

- ・ **キーワードとなる言葉にアンダーラインを引いて下さい。**

河川教育計画書【単学年】

1.助成事業名	えだっこ 川環境調査隊	学校名	いの町立枝川小学校	助成番号	S 2 4 0 0 5 8							
2.河川教育の目標	身近な川に興味をもち、川の様子やそこに住む生き物について調べ発信する活動や先人の川との関わりの学習を通して、表現する力・行動する力を育てるとともに、人の暮らしと川の関わりについての理解を深める。											
3.育成したい資質・能力	身近な川に興味をもち、川の様子やそこに住む生き物や環境との関係について興味をもち、各々が課題を設定し、解決方法について考え、関係機関や地域の人たちにも助けてもらいながら、自分自身や友達と協力して解決しようとしている。調べたことや経験したこと、分かったことを発信する活動を通して、他者に表現したり・自ら行動したりする活動を通して、人の暮らしと川の関わりについての理解を深めている姿。											
4.学年／人数	第4学年 52名											
5.単元構想												
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
単元目標	単元名 宇治川ってどんな川			単元名 仁淀川・宇治川について調べよう				単元名 仁淀川・宇治川の特徴を知り、取り巻く環境をふくめて川とどのように関わっていくか考				
	○宇治川が仁淀川の支流であることを理解している ○宇治川の実態を探ろう ○宇治川と仁淀川の違いを資料や調査して調べよう。 ○それぞれの川の特徴や、取り巻く環境を含めて考えることができる。			○宇治川と仁淀川の水を採取し、水質調査などを行い、それぞれの川の水質、水辺の様子の違いについて調べることができる。その結果を考察し、次の活動について、計画することができる。 ○水害の歴史について理解する。				○仁淀川・宇治川、それぞれ川の特徴を理解している。 ○川を取り巻く環境について理解し、自分たちにできることを考えることができる ○この学習で学んだことを他者へ向けて発信することができる。				
	主たる教科： 総合 関連教科： 理科, 社会, 国語 15時間			主たる教科： 総合 関連教科： 理科, 社会, 国語 17時間				主たる教科： 総合 関連教科： 社会, 国語 22時間				
主な学習活動	1. 身の回りの川について知ろう。 ○仁淀川と宇治川について知っていることを出し合おう。そして比べよう	1. 宇治川の実態を探ろう。 ○宇治川の水質や生き物、自然環境を調査する。	1. 宇治川の実態を探ろう。 ○宇治川の水質や生き物、自然環境を調査する。	1. 宇治川の課題を見つけよう。 ○過去の水害の歴史や宇治川の河川工事完成式典などから、地域の課題を見出し、課題を明確にする。	1. 仁淀川の実態を探ろう。 ○仁淀川の水質や生き物、自然環境を調査する。	1. 仁淀川について調査しよう。 ○地域や自然との関わりについて調べる。	1. 仁淀川と共存してきた地域、自然について考えよう。 ○地域や自然との関わりについて調べる。 2. 宇治川と同じ水系の川をきれいにするためのプロジェクトを考える	1. 清流 仁淀川の流域で栄えてきた紙づくりについて学び、先人の苦労や思い、自分たちが引き継ぐべきことについて、考える。	1. 宇治川をきれいにするためのプロジェクトを考え、実践しよう。	1. プロジェクトを実践しよう。 2. 発信しよう。	1. 発信しよう	1. 一年間の活動を振り返り、活動のまとめをしよう
評価の観点	・宇治川・仁淀川の実態を知るために、どのような方法があるか、考え、表現している。・考えたアイデアを実現する方法を表現している。	・宇治川・仁淀川の調査方法について決めて活動している。・友達と協力して課題解決にあたっている。	・仁淀川と宇治川の違いについて考えを表現している。 ・川に関わる課題をを個々やグループで考え設定している。 ・考えた課題の解決に向けた方法について考えている。	・グループごとに考えた課題の解決方法をもち、協力して課題解決に取り組んでいる。 ・学習した内容について、相手を決め、その対象にあった表現方法を考え、伝えている。	学習したことから、これからの川との向き合い方を個々に考え、自分の考えを表現することができる。	・仁淀川の自然や流域の様子を継続して調べる活動を通して、仁淀川の水質が地域の人の努力によって支えられていることを知り、それを宇治川の環境保全に生かすことができる。 ・流域で栄えた紙づくりについて、博物館見学や紙漉き体験、学習内容をから、先人の思いや紙づくりについてのこれからについて、自分考えをもち発信している。						

河川教育 学習活動報告書【単学年】

1.助成事業名	えだっこ川環境応援隊	学校名	いの町立枝川小学校	助成番号	2024-7211-018
---------	------------	-----	-----------	------	---------------

2.実際にを行った単元構成
 (注)活動の様子を記述し、写真を添付してください。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	---	---	---

枝川の特長、水害を知ろう

- ・地域で起こった水害について関心をもち、調べることができる。
- ・水害が多い枝川地区の特長を調べることができる。

関連教科:総合学習20時間、社会3時間

いの町の取組を知ろう

- ・いの町の治水対策や水のゆくえについて調べたことをまとめることができる。
- ・治水施設の見学を通して、いの町の水害対策への理解を深める。

関連教科:総合学習33時間、社会2時間

自分たちにできることを考えよう

- ・ハザードマップの見方を知り、自分の家の浸水状況を確認することができる。
- ・これまでの学習を振り返り、自分たちにできることを考え、実践しようとする。

関連教科:総合学習18時間

学習活動の結果

・学年集会で、今年の総合のテーマを発表し、年間の流れや、枝川の水害の簡単な説明をするオリエンテーションを行った。
 ・河川や水害について疑問や不思議に思ったことはないか児童に投げかけ、自由に意見を出してもらった。
 ・児童からは、①水害の種類はどれだけあるのか②治水工事はどうやってやっているのか③水害が起きたら、もとの町に戻るまでどれだけの時間がかかるのかといった疑問が出た。

・児童から出た疑問や不思議を調べるため、チームに分かれて学習を行なうことを提案した。
 ・児童と一緒にチーム分けを考える中で、①川をきれいにするチーム②川のふしぎチーム③津波チーム④ひなん場所チーム⑤水害チーム⑥災害の時の備えチームの6つに分かれることに決まった。
 ・自分の興味のあるチームを選び、調べ学習を行なった。

・図書やgoogleで調べ学習を行い、ロイロノートにまとめた。
 ・学年間でそれぞれのチームが発表をした。



・いの町役場の方の出前授業で、枝川の水害の様子や、いの町の水害対策について知った。
 ・熱心にメモをとり、自分たちの住んでいる地区のことを知ろうとする様子が見られた。
 ・出前授業の後、東浦ポンプ場の見学を行った。
 ・施設やそれぞれの機械の説明を聞き、疑問に思ったことはすぐに担当の方に質問した。



・高知河川国道事務所の方に、治水施設の役割を教えてくださいました。
 ・宇治川排水機場と新日下川放水路を見学した。
 ・宇治川排水機場では、クイズ形式で施設の役割を教えてくださいまして、子どもたちも興味津々の様子であった。
 ・新日下川放水路では、放水路お工事の様子を映像で見て、実際に放水路を見学した。



・いの町役場の方から、マイ・タイムラインについてお話があり、マイ・タイムラインについて理解を深めた。
 ・実際に、マイ・タイムラインを作成した。



・枝川の水害チーム、治水施設チームに分かれて学習のまとめを行い、ロイロノートにまとめたものを発表し合った。



・いの町役場の方の出前授業で、3Dハザードマップの見方を知った。
 ・3Dハザードマップから、自分の家を見つけ、浸水状況を確認した。
 ・児童からは、浸水状況に驚く様子が見られた。



・1年間の学習のまとめを3年生に発表することを伝えました。
 ・児童からは、「3年生に恥ずかしくないようがんばらないかん」「どうやったら、分かりやすく伝えられるかな?」と3年生の目線で、発表内容を考える姿があった。
 ・発表当日は、3年生から感想や質問、3年生の担任の先生から評価があり、達成感を感じている様子で発表しました。



3.得られた成果
 ・水害を経験していない児童が、枝川地区の過去の水害の写真や被害概要を知ることによって、自分事として学習に積極的に取り組む様子が見られた。学期ごとにロイロノートに学習のまとめを行った。どの学期も大きく3チーム(水害・治水施設・マイ・タイムラインなど)に分け、どのチームで学習のまとめをするのかを児童に選ばせた。その際、仲が良い友達同士でチームになるのではなく、自分の興味のある分野を選び、「おれらの地域のことやき、水害のこと知っちゃったほうがいいよね」「でも、避難経路も考えたいな」と、自分の地域のことを深く知りたい、自分や家族の命を守るための対策を考えたいという意識が伝わってきた。
 ・いの町役場の方と12月末に行ったマイ・タイムライン作りを通して、避難準備に必要な事柄を知り、学習後家族と防災会議を開いたという児童がいた。また、普段から非常用持ち出し袋などを用意していると言っていた児童も、「中身を見直そうと思った」「ローリングストックしてみる!」と話す等、防災意識が高まったのではないかと感じている。

4.河川、水を学習の題材・素材としたことによる効果
 ・仁淀川があるいの町に住む子どもたちにとって、川は身近な存在である。その川について詳しく調べていく中で、特に枝川地区は水害が多いということを知り、自らの防災意識を見直すきっかけになったと感じている。特に、2月末にいの町役場の方で行った3Dハザードマップから自分の家の浸水状況を確認する場面では、「こんなに浸水するがや!」「2階は大丈夫やけど、1回は浸かってしまう」「けど、枝川小は全く浸水してない!」など、何も対策をしないままでは自分や家族の命を守れないのだと感じた児童が多かった。
 ・河川国道事務所の方に前出授業をお願いしたことで、治水施設の役割を分かりやすく教えていただいた。実際に放水路を見学し、増水時の水のゆくえを知ることによって、見学した施設が自分たちの生活を守っているという実感が湧いたようだった。河川国道事務所や放水路の仕事に興味をもった児童もおり、キャリア教育にもつながったことが思わぬ収穫であった。

[学校部門]

実施内容が分かる資料

[活動状況写真]

助成番号	助成事業名	校名
2024-7211-018-	えだっこ川環境応援隊	高知県 いの町立枝川小学校

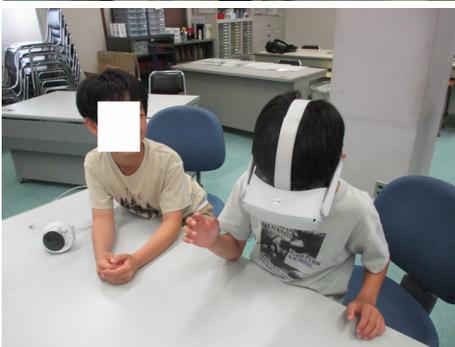
学習活動名：防災参観日（地域の砂災害の危険性を知る）

日付：6.15



学習活動名：防災参観日（地域で大雨が降った時の状況を3Dで見る）

日付：6.15



学習活動名：1学期学習のまとめ

日付：7月



学習活動名：いの町役場の出前授業

「枝川地区の水害被害の様子とその対策について」

日付：9.27



学習活動名：いの町役場の出前授業と地域のフィールドワーク

「枝川地区の水害被害の様子とその対策について」

日付：9.27

北浦ポンプ場 東浦ポンプ場



学習活動名：高須浄化センター見学

日付：10.11





学習活動名：
日付：
見られた子どもの姿：



学習活動名：調べたことを報告しよう
下級生（3年生）に発表しよう

日付：12.17
3.1
見られた子どもの姿：



様式 14-3

[学校部門] 単学年・複数学年

[見られたこどもの変容]

助成番号	助成事業名	学校名
2024-7211-018	えだっこ川環境応援隊	いの町立枝川小学校



学年：4年

学習活動名：マイ・タイムライン作り

見られたこどもの変容：ハザードマップで、自分の家の浸水状況を確認したことで、水害時の危険について真剣に考える姿が見られた。子どもからは、「うちは色が濃い所やき、このまま何もしなかったらやばいやん (危ないの方言)」など、日頃からできる対策を考えようとしていた。



学年：4年

学習活動名：新日下川放水路見学

見られたこどもの変容：治水施設の役割について教えていただいた後、あまりイメージが湧かない様子であったが、実際に放水路を歩くことで、増水時の水の行方や放水路の役割を実感できた様子が見られた。



学年：4年

学習活動名：宇治川排水機場

見られたこどもの変容：排水機場の役割をクイズ等で分かりやすく説明いただいたことで、それぞれの部位がどんな役割を担っているのか興味深く見学する様子が見られた。

注1) 子どもの変容が分かる写真を掲載し、その変容が見られた学習活動名、見られたこどもの姿(変容)を記載してください。その際、できる限り子どもが発した言葉などを拾い上げてください。

注2) 全ての活動について載せる必要はありません。

様式 15

[学校部門]

[実施箇所位置図]

助成番号	助成事業名	学校名
2024-7211-018	えだっこ川環境応援隊	いの町立枝川小学校

主な実施箇所 高知県のいの町枝川地区 宇治川流域

※環境学習を数カ所で行っている場合は、代表的な箇所を2カ所程度記載してください。
 ※ダム等の施設を見学した場合は、当該施設の位置図を記入して下さい。
 (縮尺は1/50万~1/100万程度)



助成事業の主な実施箇所